

【表紙】

【提出書類】	臨時報告書
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成30年 6月21日
【会社名】	日本郵船株式会社
【英訳名】	Nippon Yusen Kabushiki Kaisha
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長・社長経営委員 内 藤 忠 顕
【本店の所在の場所】	東京都千代田区丸の内二丁目 3 番 2 号
【電話番号】	03 - 3284 - 5151
【事務連絡者氏名】	主計グループ長 河 邊 顕 子
【最寄りの連絡場所】	東京都千代田区丸の内二丁目 3 番 2 号
【電話番号】	03 - 3284 - 5151
【事務連絡者氏名】	主計グループ長 河 邊 顕 子
【縦覧に供する場所】	日本郵船株式会社横浜支店 (横浜市中区海岸通三丁目 9 番地) 日本郵船株式会社名古屋支店 (名古屋市中区錦二丁目 3 番 4 号) 日本郵船株式会社関西支店 (神戸市中央区海岸通一丁目 1 番 1 号) 株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町 2 番 1 号) 株式会社名古屋証券取引所 (名古屋市中区栄三丁目 8 番20号)

1【提出理由】

平成30年6月20日開催の定時株主総会において、決議事項が決議されましたので、金融商品取引法第24条の5第4項及び企業内容等の開示に関する内閣府令第19条第2項第9号の2の規定に基づき、本報告書を提出するものです。

2【報告内容】

(1) 当該株主総会が開催された年月日

平成30年6月20日

(2) 当該決議事項の内容

第1号議案 剰余金の処分の件

イ. 配当財産の種類

金銭

ロ. 株主に対する配当財産の割当てに関する事項及びその総額

当社普通株式1株につき30円 総額5,087,301,150円

ハ. 剰余金の配当が効力を生じる日

平成30年6月21日

第2号議案 定款一部変更の件

当社及び子会社の事業活動の現状に即して事業内容をより明確にするとともに、今後の事業展開等に対応するため、定款の目的に所要の変更を行い、また、その他、項目の新設に伴い号数の繰り下げを行うものです。

第3号議案 取締役9名選任の件

工藤泰三、内藤忠顕、長澤仁志、力石晃一、吉田芳之、高橋栄一、岡本行夫、片山善博及び国谷裕子の9氏を取締役に選任するものです。

(3) 当該決議事項に対する賛成、反対及び棄権の意志の表示に係る議決権の数、当該決議事項が可決されるための要件並びに当該決議の結果

決議事項	賛成(個)	反対(個)	棄権(個)	決議の結果及び賛成割合(%)
第1号議案 剰余金の処分の件	1,233,831	56,752	1,467	可決 95.06%
第2号議案 定款一部変更の件	1,287,914	2,668	1,467	可決 99.23%
第3号議案 取締役9名選任の件				
工藤 泰三	1,035,876	254,304	1,788	可決 79.81%
内藤 忠顕	1,054,304	235,877	1,788	可決 81.23%
長澤 仁志	1,141,954	148,232	1,788	可決 87.98%
力石 晃一	1,142,010	148,176	1,788	可決 87.99%
吉田 芳之	1,192,781	97,405	1,788	可決 91.90%
高橋 栄一	1,270,557	19,629	1,788	可決 97.89%
岡本 行夫	1,186,371	104,136	1,467	可決 91.40%
片山 善博	1,278,001	12,507	1,467	可決 98.46%
国谷 裕子	1,278,173	12,335	1,467	可決 98.48%

(注) 1. 各議案の可決要件は以下のとおりです。

第1号議案

出席した株主の議決権の過半数の賛成によります。

第2号議案

議決権を行使することができる株主の議決権の3分の1以上を有する株主が出席し、出席した当該株主の議決権の3分の2以上の賛成によります。

第3号議案

議決権を行使することができる株主の議決権の3分の1以上を有する株主が出席し、出席した当該株主の議決権の過半数の賛成によります。

2. 上記の賛成、反対及び棄権の意思の表示に係る議決権の数は、事前行使分及び当日出席の株主のうち各議案の賛否等に関して確認できたものの数(以下「集計対象議決権」といいます。)について集計したものです。

(4) 議決権の数に株主総会に出席した株主の議決権の数の一部を加算しなかった理由

集計対象議決権の集計のみにより各決議事項が可決されるための要件を満たし、会社法に則って決議が成立したためです。

以 上